

# 令和元年度 矢田西中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、生徒の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2-1 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

## 2-2 「中学生チャレンジテストplus」の調査の目的

- (1) 生徒及び保護者が、学習理解度及び学習状況等を知り、目標をもって主体的に学習に取り組めるようにする。
- (2) 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。
- (3) 学びの連続性を確立する観点から、客観的・経年的なデータを把握、分析し、効果的な指導方法や課題を「見える化」し、その改善に役立てる。

## 3 「大阪市中学生3年生統一テスト」の調査の目的

- (1) テスト結果を個々の生徒の評定（内申点）に活用し、平成31年度大阪府公立高等学校入学者選抜における調査書に記載する評定の公平性、信頼性を確保する。
- (2) 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。

## 4 「大阪市英語力調査（英検IBA）」の調査の目的

- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟課程等を把握・検証する。
- (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の改善、工夫に役立てる。

# 令和元年度 矢田西中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

## 1 全国学力・学習状況調査

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)			平均無解答率(%)		
			国語	数学	英語	国語	数学	英語
3 年	学校	41	72	59	52	2.1	6.6	5.9
	大阪市	—	70	57	54	3.5	8.8	6.7
4月18日	全国	—	72.8	59.8	56.0	2.6	7.3	6.0

## 2 中学生チャレンジテスト

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会※	数学	理科※	英語	国語	社会※	数学	理科※	英語
3 年	学校	41	58.1	42.6	54.7	47.6	42.8	3.6	5.4	11.2	3.3	4.1
	大阪市	—	56.6	45.9	52.5	47.4	46.2	6.0	6.0	13.2	5.9	5.4
6月19日	大阪府	—	57.1	46.2	53.5	47.7	47.0	6.2	6.2	13.2	6.2	5.2
2 年	学校	51	43.4	43.5	50.7	56.8	43.1	15.9	10.2	13.2	4.8	6.9
	大阪市	—	50.2	49.3	58.7	48.5	54.6	9.8	5.9	8.1	6.3	3.8
1月9日	大阪府	—	51.1	49.8	59.6	48.8	54.9	9.0	5.9	8.2	6.6	3.9
1 年	学校	37	62.1	52.6	38.4	43.2	46.7	6.4	5.5	13.1	5.9	5.4
	大阪市	—	63.9	54.3	47.0	54.3	56.3	7.0	5.6	10.3	3.9	3.0
1月9日	大阪府	—	64.9	54.3	48.8	54.3	57.5	6.9	5.6	10.6	4.4	3.2

※ 1年生の社会・理科については、「中学生チャレンジテストplus」として実施

※ 1年生の理科は化学的領域を選択

※ 2年生の社会はA問題を選択 2年生の理科はA問題を選択

## 3 大阪市中学校3年生統一テスト

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)				
			国語	社会	数学	理科	英語
3 年	学校	41	65.1	48.5	56.2	51.3	60.5
10月3日	大阪市	—	67.9	51.7	61.6	55.2	68.3

## 4 大阪市英語力調査（英検IBA）

学年 実施月日		生徒数 (人)	語い 熟語 文法 (%)	読解 (%)	リスニング (%)	英検3級 LV以上 (%)	英検4級 LV以上 (%)	英検5級 LV以上 (%)
3 年	学校	41	55.7	44.6	54.8	47.2	—	—
10月23日	大阪市	—	61.5	55.0	54.6	54.0	—	—

## 令和元年度 矢田西中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

### 調査結果から

#### 【成果と課題】

##### ＜成果＞

2年生は理科で府・市の平均正答率を大きく上回り、特に生物・化学分野の成果は顕著である。国・社・数・英は府・市の平均を下回った。

1年生はすべての教科で府・市の平均を下回ったが、特に数・理・英は10ポイント下回っている。

##### ＜課題＞

2年生は、国語における「伝統的な言語文化・国語の特質に関する事項」、社会における地理的分野、数学における関数、理科における物理分野、英語における「読むこと」が課題である。すべての教科で「知識・理解」が課題となっており、学習事項の定着に課題がある。

1年生の課題で特に顕著に表れているのは、数学の関数分野、英語の「読むこと」分野、社会の「社会的な思考・判断・表現」の技能、理科の「科学的な思考・表現」である。

#### 【今後に向けて】

1・2年生ともに、基礎的な学習内容の定着に課題がある。例年低かった無答率も高い。学校での学習で理解が不十分であったり、定着しきれていない生徒が多い現状がある。学習意欲は決して低くないので、授業で主体的に学ぶ形態やスモールステップで理解を進める工夫を進めるとともに、家庭や放課後に自主的に学ぶ働きかけ等を行っていく。